



## 豊かな心 元気な体

園長 御手洗竹代

新年明けましておめでとうございます。干支も始めに戻ってネズミ年ですね。今年も皆様にとって、よい年となりますよう、心よりお祈りいたします。

昨年5月に元号が変わって令和が始まり、もう令和2年です。2020東京オリンピック・パラリンピックがいよいよ開催年となります。子どもたちにとって、どんな記憶に残る出来事が生まれるか楽しみです。私は前回の東京オリンピックのとき、幼稚園の年長組でした。記憶は薄いのですが、叔母に連れられてマラソンの応援に行ったそうです。大人が楽しそうに待っていたとき、自分は退屈していたような…でも、こうして語れる機会をつくってくれたことに感謝です。

オリンピックが近いためスポーツに脚光がよくあたる昨今ですが、明化幼稚園の特色ある教育活動の名称は「豊かな心 元気な体」です。幼児教育としては何と王道をいく名称でしょう。令和元年度はゲストを招いての音楽会、観劇会、ツボタマンと遊ぼう(運動遊び)、サッカー教室、相撲に親しむ会などで日頃できない文化的・運動的な体験活動をしてきました。こうした体験をさらに広げるのは、保護者の方との関りです。イベントと一緒に参加する、参観日に触れ合う、絵本の読み聞かせをもらう、5歳児の3学期には外国とつながりのある保護者の方にお話を聞くなど、その他にも保護者の方が自分のお子さんや園児たちと関わる機会をつくってきました。なぜ、子どものための「豊かな心 元気な体」なのに、保護者の協力をいただいているのでしょうか。それは共通の体験を交わし合うことで、子どもにとって喜びや、発見、面白さなどの感情が、より一層印象深くなるからです。ですから、子どもと一緒に見たり、聞いたり、体験したときは子どもの気持ちになって、一緒に楽しんでください。

明化幼稚園にお子さんを預けている保護者の中には、就労している方も多くおいでです。「働いていて園行事に参加できないと、子どもに影響が出ないか心配」と言ってくださる方もいます。どうぞお子さんを迎えに来たとき、伝言ボードを見て、お子さんの話に耳を傾けてください。そしてお子さんがうれしそうに話したら、うれしそうに聞いてください。その表情がお子さんにとっての体験を印象深くするきっかけになるはずですよ。

3学期は短い学期です。密度の濃い日々を子どもたちと過ごし、「豊かな心 元気な体」を育むよう力を尽くしてまいります。どうぞ今学期もよろしくお祈りいたします。



今年の干支はネズミですね